

平成30年度(完成)

優良業者等表彰(局長表彰)

- 優良施工工事部門
- ICT活用工事部門
- 安全施工工事部門
- 優良業務部門
- 優秀工事技術者部門
- 優秀業務技術者部門

令和元年7月

沖縄総合事務局開発建設部

優良業者等表彰一覧(局長表彰)

◆優良施工工事部門

工 事 件 名	業 者 名	事務所等名	項
● 平成28年度恩納BP5号橋下部工(A1～P2・P6・A2)工事	金秀建設(株)	北 部 国 道	P 2
● 平成30年度北部5ダム維持補修工事	(株)丸孝組	ダ ム 統 管	P 3
● 平成29年度宮平地区改良(その1)工事	(株)丸政工務店	南 部 国 道	P 4
● 那覇空港滑走路増設5工区築造工事	あおみ建設・大本組・丸元建設特定建設工事共同企業体	那覇港湾・空港	P 5

◆ICT活用工事部門

工 事 件 名	業 者 名	事務所等名	項
● 平成29年度宮平地区改良(その2)工事	(株)鏡原組	南 部 国 道	P 7
● 中城湾港(新港地区)航路(一13.0m)浚渫外1件工事	みらい建設工業(株)・座波建設(株)特定建設工事共同企業体	那覇港湾・空港	P 8

◆安全施工工事部門

工 事 件 名	業 者 名	事務所等名	項
● 平成29年度新川地区跨道橋上部工工事	(株)ピーエス三菱 沖縄営業所	南 部 国 道	P10
● 機動隊(30)電気設備その他改修工事	(株)日本電設	開 発 建 設 部 (営繕監督保全室)	P11

◆優良業務部門

業 務 件 名	業 者 名	事務所等名	項
● 平成30年度ダム統管管内橋梁点検業務	平成30年度ダム統管管内橋梁点検業務建設技術研究所・CTI グランドプランニング設計共同体	ダ ム 統 管	P13
● 平成29年度小禄道路付属施設等詳細設計業務	(株)オリエンタルコンサルタンツ 沖縄支社	南 部 国 道	P14
● 平成30年度南部国道改築事業促進等検討業務	(株)千代田コンサルタント 沖縄 営業所	南 部 国 道	P15
● 平成30年度北部国道管内道路附属物及び土工構造物点検等(その2)業務	大日本コンサルタント(株) 沖縄 事務所	北 部 国 道	P16
● 那覇港(新港ふ頭地区)臨港道路(若狭港町線)詳細設計業務(その2)	大日本コンサルタント(株) 沖縄 事務所	那覇港湾・空港	P17

◆優秀工事技術者部門

工 事 件 名	業 者 名	技術者名	事務所等名	項
● 平成29年度与那原地区道路改良(その4)工事	先嶋建設(株)	西江 敬仁	南 部 国 道	P19
● 平成29年度南風原アーチ橋耐震補強(下りP15、P16)工事	(株)鏡原組	金城 保	南 部 国 道	P19
● 石垣港(新港地区)岸壁(一10m)築造工事(第3次)	丸尾建設(株)	大底 安則	石 垣 港 湾	P20

◆優秀業務技術者部門

業 務 件 名	業 者 名	技術者名	事務所等名	項
● 平成30年度南部国道事務所用地補償総合技術(その3)業務	(一財)公共用地補償機構 沖縄事務所	平良 盛隆	南 部 国 道	P22
● 那覇港(新港ふ頭地区)岸壁基本設計業務	パシフィックコンサルタンツ(株) 沖縄支社	鈴木 信夫	那覇港湾・空港	P22

優良施工工事一覧

優良施工工事の選考基準

1. 施工計画、品質、出来形管理等の施工技術が優秀で出来ばえも良く、他の模範となるもの
2. 工事施工上の困難性(短期間の工期、施工条件、難易性、地元情勢)を克服し、工事の遂行に努力し、かつ、出来ばえの良好なもの
3. 新しい施工技術を導入し、今後の施工技術の研究及び向上に貢献度が大きく、かつ、出来ばえも良好なもの

工 事 件 名	業 者 名	事務所等名	項
● 平成28年度恩納BP5号橋下部工(A1～P2・P6・A2)工事	金秀建設(株)	北 部 国 道	P 2
● 平成30年度北部5ダム維持補修工事	(株)丸孝組	ダ ム 統 管	P 3
● 平成29年度宮平地区改良(その1)工事	(株)丸政工務店	南 部 国 道	P 4
● 那覇空港滑走路増設5工区築造工事	あおみ建設・大本組・丸元建設特定建設工事共同企業体	那覇港湾・空港	P 5

優良施工工事

件名 平成28年度恩納BP5号橋下部工(A1～P2・P6・A2)工事

会社名 金秀建設(株)



工事説明

本工事は、一般国道 58 号の恩納バイパス事業の一環であり、恩納バイパスにおける 5 号橋の橋台 2 基、橋脚 3 基の工事である。

本施工箇所は、供用中の既設道路との近接作業、周辺は農道及び河川の横断、米軍施設の隣接等、通行車両への安全及び周辺環境に対しての配慮が必要な状況であった。

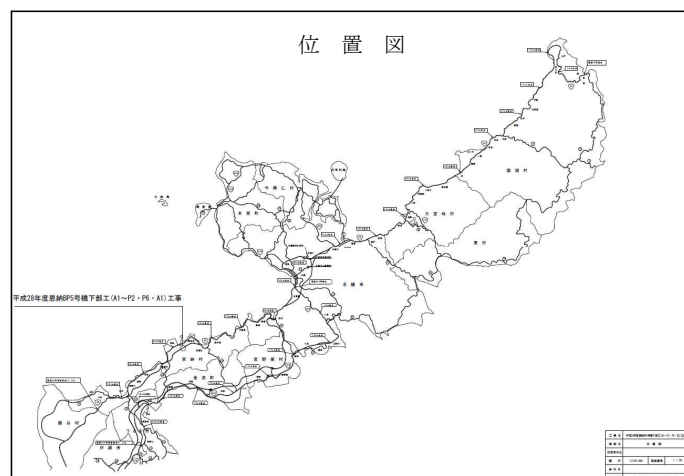
橋台施工箇所は通勤及び観光車両の多い供用中のバイパスからの出入の為、頻繁な大型車両の搬出入時には誘導員の配置はもちろん事前にと決めた運行経路を遵守させることで渋滞を起こす事なく工事を進捗することができた。

橋脚施工箇所においては、供用中のバイパス通行車両への配慮としてクレーン使用時の高さ及び旋回の制限を実施し運転者に威圧感を極力与えないよう、待機時の旋回等を実施し、施工中の災害防止としてクレーンのリミッターキーの現場保管を徹底して行った。

本工事の工程のクリティカルである P1 橋脚、P2 橋脚においては米軍演習地への通行止めが出来ない為、橋脚間への切廻し、狹隘での施工でしたが、施工上の懸念事項等も関係機関への事前の協議や工事繁忙期の地元自治会、地元耕作者への説明、挨拶等を行ったことで、工事に対する苦情、河川への土砂流出等もなく施工できた。

品質、安全、環境どれにおいても勝手なことはしないさせない、各施工段階に応じた事前の打

合せを徹底管理することで長期にわたり無事故・無災害にて竣工を迎えることが出来た。



工事概要

- 事務所名／北部国道事務所
- 工事場所／恩納村字恩納地内
- 工事内容／道路土工 一式
- 排水構造物工 一式
- 構造物撤去工 一式
- 法面工 一式
- 橋台工(2 基) 一式
- RC 橋脚工(3 基) 一式
- 仮設工 一式
- 磁気探査工 一式
- 工期／H28.11.4～H31.3.18
- 契約金額／¥390,679,200

優良施工工事

件名 平成30年度北部5ダム維持補修工事

会社名 (株)丸孝組



調整水路トンネルインバート補修工完了



施工状況

工事説明

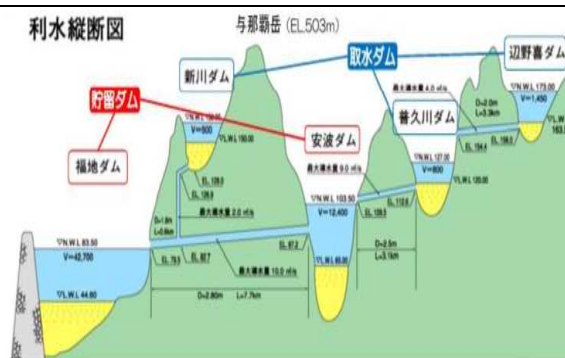
本工事はダムが所期の機能を発揮するようダム管理施設及びダム湖の正常な機能を維持、保全する工事である。

本工事において主要工種となった構造物補修工は、ダム間を連結して導水する調整水路トンネルのインバート補修工であった。右図のとおり、5つのダムを調整水路トンネルで結んで統合運用することで高効率な水資源利用が図られている。水路はこの統合運用の要ともいえる重要な施設であり、継続的に調査・補修が行われている。今回の施工内容は安波ダムと福地ダム間の一部、延長 350m で劣化した水路インバートにコンクリートを打設して底盤を増圧補強するものであった。

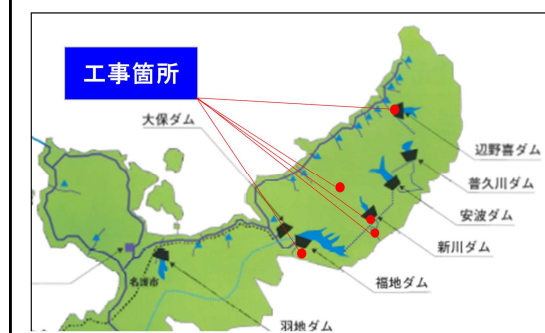
工事特性としては、地下トンネルという特殊環境や米軍北部訓練場という規制地内の通行、水資源管理への影響を出来るだけ小さくするための早期完了などの課題があった。これらの課題に対し、発注者と細部の打合せ・協議を行いながら適切な施工計画を立案し、安全な施工環境の整備・県外からの特殊施工機械の調達・生コン業者との事前供給折衝・米軍関係者との日々調整等を円滑かつタイムリーに実施し、短期間で工事を完了させた。

その他工事全般にわたり良好な品質、出来形を確保しダム管理に支障をきたすことなく無事故で工事を完成させた。

利水縦断面図



位置図



工事概要

- 事務所名／北部ダム統管理事務所
- 工事場所／沖縄県国頭郡国頭村、東村
- 工事内容／構造物補修工一式、付属物設置工一式、雑工等一式、流木処理工一式、仮設工一式
- 工期／H30.5.24～H31.2.28
- 契約金額／¥87,480,000

優良施工工事

件名 平成29年度宮平地区改良(その1)工事

会社名 株式会社 丸政工務店



【着工前】



【竣工】

工事説明

国道329号南風原バイパスは、南風原町から那覇市間の交通混雑の緩和と沿道環境の改善、那覇都市圏へのアクセス強化による幹線道路網の形成などを目的とする道路です。

本工事は南風原町字宮平地内において側道及び歩道を施工した工事である。

施工にあたっては、隣接工事との工程及びヤード調整の他、既設町道との交差箇所が多い制約条件の中、現道交通の安全性を確保しながら施工が困難性を伴った。

また、作業に伴う騒音・振動等に地元住民への配慮として、防音・防塵ネット設置等、積極的な取組で地域貢献を図り、適正に工事を実施したことで、無事故で工事を完成させた。

また、施工範囲の大部分で軟弱地盤対策が必要となり、追加工種も含め適切に対応し高い水準で品質・出来形・出来栄を確保した。

この工事の完成により、国道329号南風原バイパスの南風原町宮平～新川区間の延長1.2kmが平成31年3月21日より暫定2車(側道部)を開通することができ、那覇方面から大型商業施設までの移動時間を約8分短縮が想定され、アクセス性・利便性の向上が期待されます。

位置図



工事概要

- 事務所名／南部国道事務所
- 工事場所／南風原町字宮平地内
- 工事内容／道路土工(ICT含む)

地盤改良工	一式
カルバート工	一式
擁壁工	一式
情報ボックス工	一式
道路照明設置工	一式
舗装工(ICT含む)	一式
- 工期／H29.8.4～H31.3.29
- 契約金額／¥380,484,000

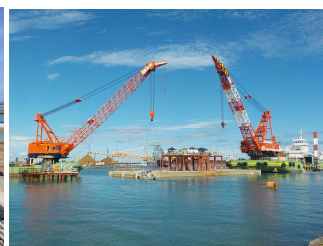
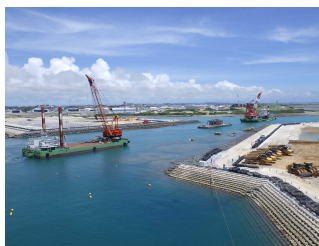
優良施工工事

件名 那覇空港滑走路増設5工区築造工事

会社名 あおみ建設・大本組・丸元建設特定建設工事共同企業体



竣工



(上) ボックスカルバート据付 (下) 水中バックホウ

工事説明

本工事は、那覇空港滑走路増設事業における外周護岸の最終締め切り及び通水部のボックスカルバート据付を施工する築造工事である。

外周護岸の締め切りに先立ち、ボックスカルバート(6函で 280m)を据付けることとなるが、当該施工箇所は幅員が約 150m と狭隘であり、かつ、波浪や潮流の影響を受けやすい海域のため、安全で効率的な施工が求められた。

そこで、据付施工時に使用する複数のウインチ操作の一元化や鋼製の据付ガイド材の設置など、安全性、効率性の向上を図りつつ、精度の高い施工とした。

また、ボックスカルバートが長大(50m 及び 40m)であることから、水平性を確保しながら沈設する必要があったため、注水管理システムを用いて管内の水位を一元的に管理し、安定的な据付を実現した。

一方で、外周護岸の締め切りに当たっては、現場海域には水深の深い場所もあることから、本体捨石の均し作業を潜土工による人力施工から水中バックホウによる機械施工とし、安全性確保と作業期間短縮を図った。

以上、様々な対策を講じながら確実に工事を進捗させ、工期内完成を達成した。

位置図



工事概要

- 事務所名／那覇港湾・空港整備事務所
- 工事場所／那覇空港地先
- 工事内容／

浚渫工	一式
基礎工	一式
本体工(カルバート式)	一式
本体工(ブロック式)	一式
本体工(捨石式)	一式
裏込工	一式
被覆・根固工	一式
雑工	一式
- 工期／H28.7.30～H30.7.31
- 契約金額／¥5,343,840,000

ICT 活用工事一覧

ICT 活用工事の選考基準

1. ICT技術を導入した工事施工並びに技術の普及に積極的に取り組み、他の模範となるもの
2. 工事施工上の困難性を克服して工事の遂行に努め、成績が優秀なもの

工 事 件 名	業 者 名	事務所等名	項
● 平成29年度宮平地区改良(その2)工事	(株)鏡原組	南 部 国 道	P 7
● 中城湾港(新港地区)航路(―13. 0m)浚渫外1件工事	みらい建設工業(株)・座波建設 (株)特定建設工事共同企業体	那覇港湾・空港	P 8

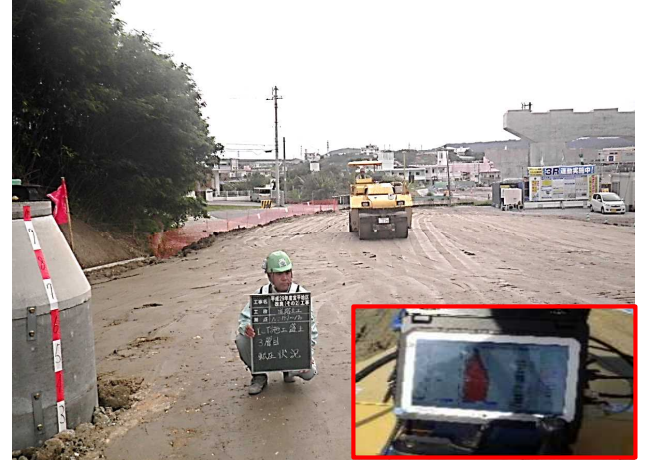
ICT活用工事

件名 平成29年度宮平地区改良(その2)工事

会社名 株式会社 鏡原組



【竣工】



【路体盛土（ICT）MGタイヤローラ】

工事説明

国道329号南風原バイパスは、南風原町から那覇市間の交通混雑の緩和と沿道環境の改善、那覇都市圏へのアクセス強化による幹線道路網の形成などを目的とする道路です。

本工事は南風原町字宮平地内において側道及び歩道を施工した工事である。

施工にあたっては、国土交通省が提唱するi-Constructionに基づき、ICTの全面的活用を図るため、起工測量、設計図書の照査、施工、出来形管理、検査及び工事完成図書や施工管理の記録及び関係書類について3次元データを活用するICT活用工事であり、掘削、路体(築堤)盛土、路床盛土、下層路盤(車道・路肩部)、上層路盤(車道・路肩部)を対象に施工し、高い水準で品質・出来形・出来栄を確保した。

この工事の完成により、国道329号南風原バイパスの南風原町宮平～新川区間の延長1.2kmが平成31年3月21日より暫定2車(側道部)を開通することができ、那覇方面から大型商業施設までの移動時間を約8分短縮が想定され、アクセス性・利便性の向上が期待されます。

位置図



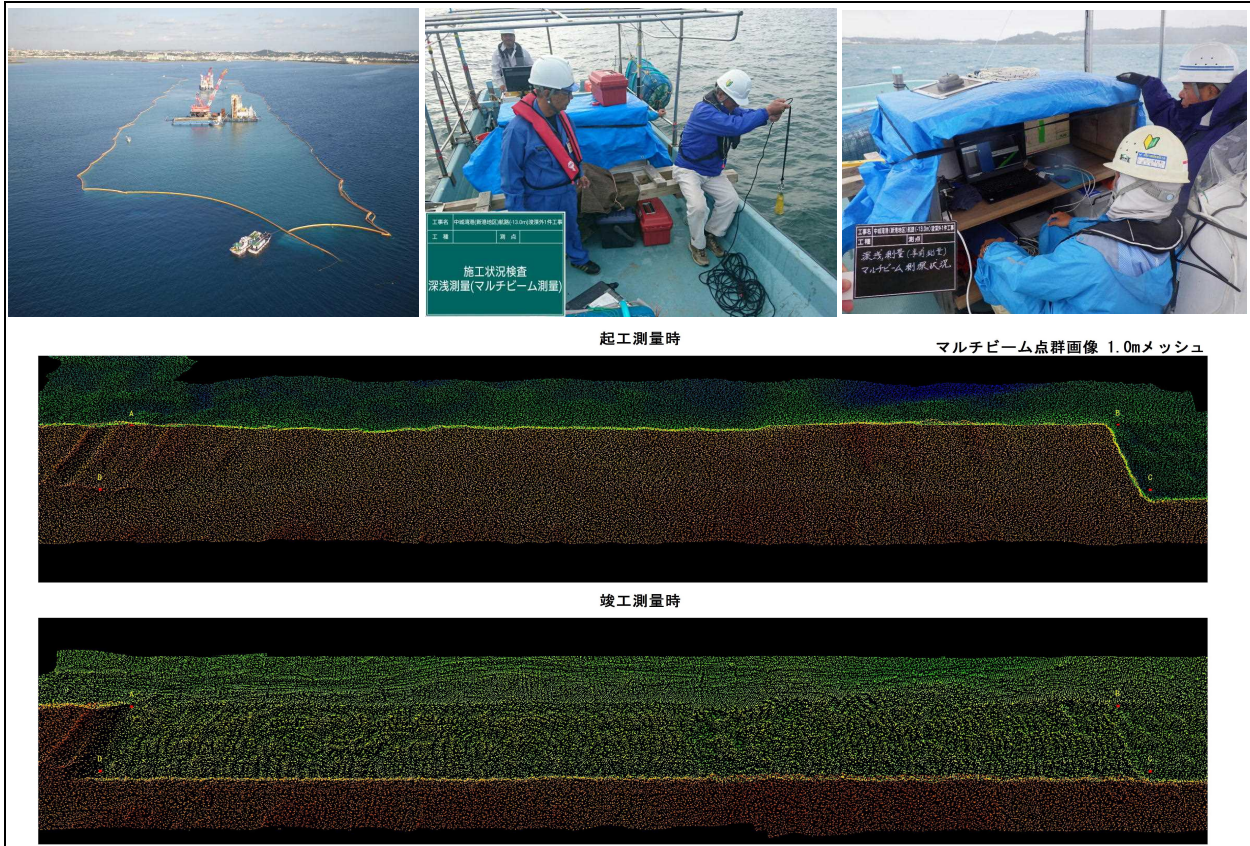
工事概要

- 事務所名／南部国道事務所
- 工事場所／南風原町字宮平地内
- 工事内容／構造物撤去工 一式
- 排水構造物工 一式
- 道路土工(ICT) 一式
- 法面工 一式
- 擁壁工 一式
- カルバート工 一式
- 舗装工(ICT含む) 一式
- 道路照明設置工 一式
- 工期／H29.8.24～H30.10.31
- 契約金額／¥239,760,000

ICT活用工事

件名 中城湾港(新港地区)航路(-13.0m)浚渫外1件工事

会社名 みらい建設工業(株)・座波建設(株)特定建設工事共同企業体



工事説明

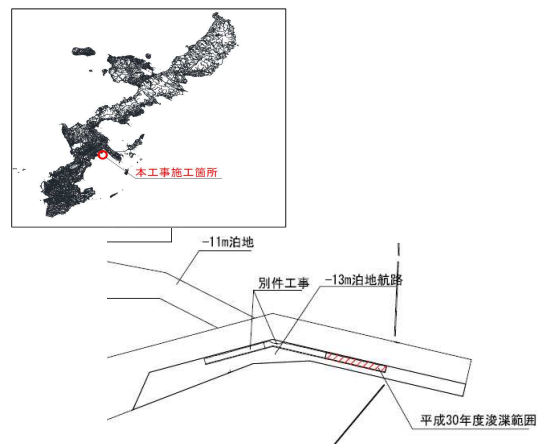
本工事は、中城湾港(新港地区)航路(-13.0m)の共通工、浚渫工、土捨工、裏込・裏埋工及び深浅測量を施工するものである。

深浅測量は、国土交通省が提唱するi-Constructionに基づき、ICTの全面的活用を図るため、起工測量、設計図書の照査、施工、出来型管理、検査及び工事完成図や施工管理の記録及び関係書類について3次元データを活用し取りまとめた。

施工においては、ICTを活用して、底面高、法面整形、土量出来高等の施工管理を行い規格値を満足するとともに出来栄の良い高品質の成果を実現した。

また、成果の3次元データを活用し水路測量法に基づく海図補正を効率的かつ的確に推進したし、本工事のみならず、ICTを活用した事業全体の効率化を実現した。

位置図



工事概要

- 事務所名／那覇港湾・空港整備事務所
- 工事場所／沖縄市海邦町地先
- 工事内容／共通工 一式
- 浚渫工 一式
- 土捨工 一式
- 裏込・裏埋工 一式
- 工期／H30.11.16～H31.3.11
- 契約金額／¥531,943,200

安全施工工事一覧

安全施工工事の選考基準

1. 工事の実施にあたり、施工の安全確保に特段の配慮がなされ、かつ工事の成績が優秀であったもの
2. 困難立地条件のなかで、安全確保を図るために積極的に創意工夫がなされ、安全施工に顕著な成績を上げたもの
3. 安全施工に関して顕著な成果を上げ、他の請負業者の模範として、推奨すべき成果をあげたもの

工 事 件 名	業 者 名	事務所等名	項
● 平成29年度新川地区跨道橋上部工工事 ● 機動隊(30)電気設備その他改修工事	(株)ピーエス三菱 沖縄営業所 (株)日本電設	南 部 国 道 開 発 建 設 部 (営繕監督保全室)	P10 P11

安全施工工事

件名 平成29年度新川地区跨道橋上部工工事

会社名 株式会社 ピーエス三菱 沖縄営業所



【着手前】



【竣工】

工事説明

国道329号南風原バイパスは、南風原町から那覇市間の交通混雑の緩和と沿道環境の改善、那覇都市圏へのアクセス強化による幹線道路網の形成などを目的とする道路です。

本工事は南風原町字新川地内において付け替え町道の上部工を施工した工事である。

施工にあたっては、隣接工事との工程及びヤード調整の他、高所作業、重量物取扱い作業が伴い重大事故につながる墜落災害防止への取組が求められたが、建設業労働災害防止協会講師による安全教育や、巻き上げ機(ウィンチ)の操作・軌道装置使用に必要な特別教育を実施し、作業員全員に資格を取得させるなどの模範的な対策を講じ、無事故で工事を完成させた。

この工事の完成により、国道329号南風原バイパスの南風原町宮平～新川区間の延長1.2kmが平成31年3月21日より暫定2車(側道部)を開通することができ、那覇方面から大型商業施設までの移動時間を約8分短縮が想定され、アクセス性・利便性の向上が期待されます。

位置図



工事概要

- 事務所名／南部国道事務所
- 工事場所／南風原町字新川地内
- 構造型式／ポストテンション方式3径間連結
バルブT桁橋(セグメント方式)
- 工事内容／プレキャストセグメント制作工一式
支承工 一式
工場製品輸送工 一式
架設工 一式
床版・横組工 一式
落橋防止装置工 一式
舗装工 一式
- 工期／H30.4.25～H31.3.29
- 契約金額／¥170,434,800

安全施工工事

件名 機動隊(30)電気設備その他改修工事

会社名 (株)日本電設

施設外観



安全ミーティング実施状況



工事説明

本工事は、昭和49年に供用を開始した沖縄県警察機動隊における老朽化した受変電設備及び電力幹線ケーブルの更新等を行う工事であり、経年劣化による予期せぬ故障で機動隊業務に支障が生じないようにするとともに、環境負荷低減(省エネルギー)を図るものである。

施設を使用しながら電源供給の根幹となる受変電設備を更新するにあたり、既設の受変電設備を撤去して新たな受変電設備を新設するまでの期間も電源を供給する必要があった。

そのためには仮設受変電設備による継続的な電源供給が必須であり、それに伴い既設から仮設、仮設から新設への電源切替え(停電)作業が必要となり、その安全対策が課題であった。

停電作業における安全対策として、数多くの既存幹線ケーブルルートの詳細な現地調査を行う等、施設全ての電気系統の確認を確実に行ったほか、施設の電気主任技術者及び施設管理者との綿密な連絡調整を行い、電源供給先の機器の停電による影響の有無を詳細に確認することを徹底した。

また電源を供給する仮設発電機稼働中の状況を24時間体制で巡視することで、故障・事故が発生しないよう更なる安全確認を徹底した。

その他の安全対策として、会社一丸となった安全管理体制を確立し、安全教育や安全パトロール、安全活動等の安全対策を徹底して行い、無事故・無災害で工事を完成させた。

位置図



工事概要

- 事務所名／営繕監督保全室
- 工事場所／沖縄県うるま市字大田
- 工事内容／本館(RC-2、2,350 m²既存)
厚生棟(RC-1、628 m²既存)
隊舎(RC-4、2,740 m²既存)
受変電設備、仮設備、
機械工事、建築工事 一式
- 工期／H30.7.5～H31.1.15
- 契約金額／¥42,886,800-

優良業務一覧

優良業務の選考基準

1. 設計計画の立案及び創意工夫等において技術力が優秀で出来ばえも良く、他の業務の模範となるもの
2. 設計計画等に新技術を導入し、今後の設計計画技術の研究及び向上に貢献度が大きく、かつ、とりまとめ、出来ばえも良好なもの

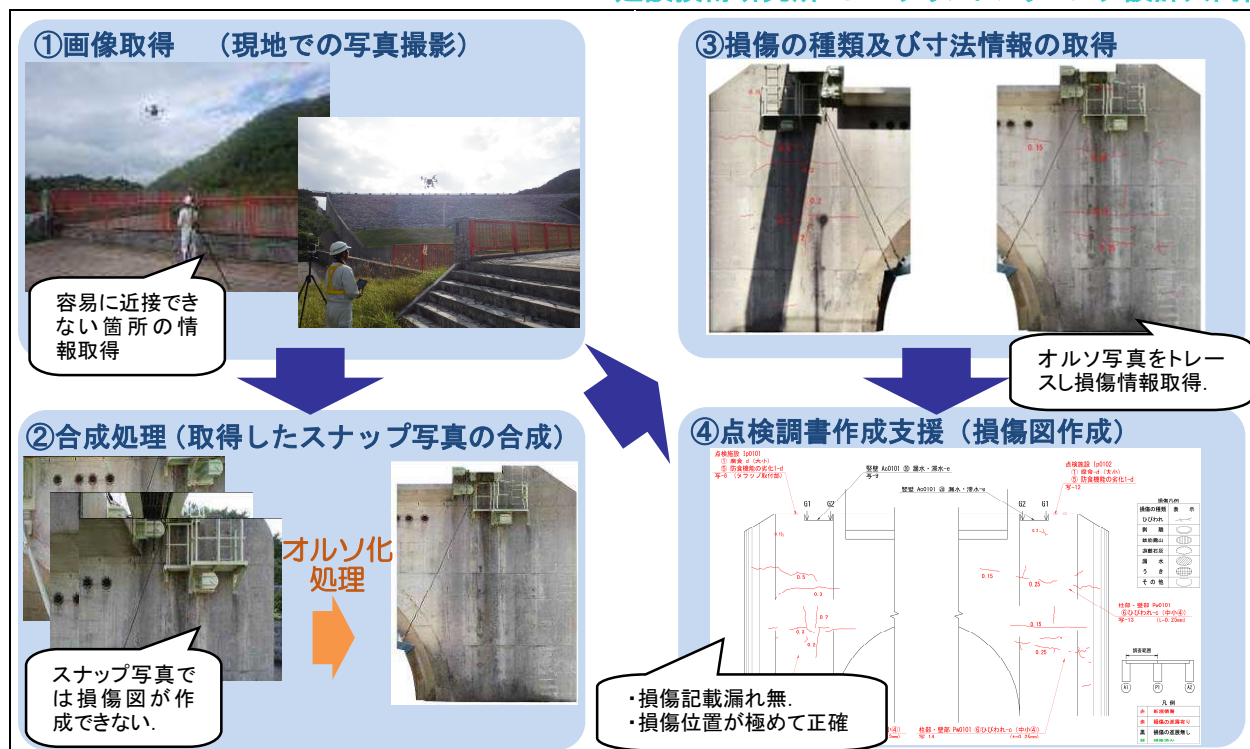
業務件名	業者名	事務所等名	項
● 平成30年度ダム統管管内橋梁点検業務	平成30年度ダム統管管内橋梁点検業務建設技術研究所・CTI	ダム統管	P13
● 平成29年度小禄道路付属施設等詳細設計業務	グランドプランニング設計共同体 (株)オリエンタルコンサルタンツ 沖縄支社	南部国道	P14
● 平成30年度南部国道改築事業促進等検討業務	(株)千代田コンサルタント 沖縄 業所	南部国道	P15
● 平成30年度北部国道管内道路附属物及び土工構造物点 検等(その2)業務	大日本コンサルタント(株) 沖縄 事務所	北部国道	P16
● 那覇港(新港ふ頭地区)臨港道路(若狭港町線)詳細設計業 務(その2)	大日本コンサルタント(株) 沖縄 事務所	那覇港湾・空港	P17

優良業務

件名 平成30年度ダム統管管内橋梁点検業務

会社名 平成30年度ダム統管管内橋梁点検業務

建設技術研究所・CTI グランドプランニング設計共同体



業務説明

本業務は、北部ダム統管管理事務所が管理する橋梁の損傷および変状を早期に発見し、効率的な維持管理に必要な基礎情報を取得することを目的に、「橋梁定期点検要領 H26.6」に準拠した定期点検および診断を行ったものである。

道路橋の定期点検は、近接目視による点検を原則としている。しかしながら、北部ダム統管管理事務所が管理する橋梁は、直轄国道とは異なり、大型車が近寄れないことや桁下に進入できない等の理由により、一般的に利用される橋梁点検車等が使用できない場合がある。このため、このような橋梁について、診断を行う上で最低限必要となる損傷状態を把握するため、ロボット技術による点検を提案・実施した。ロボット技術により撮影したスナップ写真による損傷情報は、写真1枚1枚をオルソ化し、損傷の種類および寸法など根拠情報を取得し、損傷図を作成した。

また、点検結果を基に沖縄の塩害、高紫外線環境下における防食事情も踏まえた健全性の評価、対策区分判定等の診断を行った。診断の結果、詳細調査や対策が必要と判断された橋梁は、沖縄の骨材事情を考慮した詳細調査の提案、道

路線形を考慮した対策工の提案等を行った。

更には、橋梁管理支援ツールとして、橋梁毎の維持管理履歴と現在の損傷状況を簡潔に整理するとともに、現場イメージを実感していただく補助ツールとして普段現場に入れない函桁内部を対象としてVR作成を行った。

業務概要

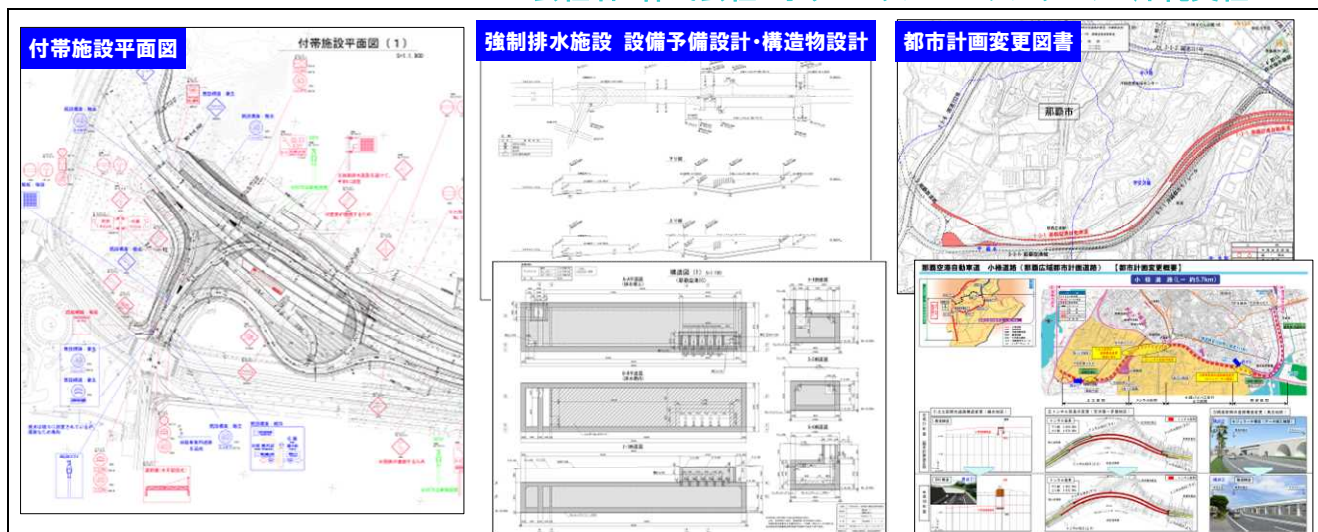
- 事務所名／北部ダム統管管理事務所
- 業務場所／北部ダム統管管理事務所管内
- 業務内容／

現地踏査	一式
関係機関との協議資料作成	一式
定期点検	一式
点検調書作成	一式
橋梁診断	一式
- 工期／H30.8.24～H31.2.28
- 契約金額／¥20,520,000

優良業務

件名 平成29年度小禄道路付属施設等詳細設計業務

会社名 株式会社 オリエンタルコンサルタンツ 沖縄支社



業務説明

本業務は、小禄道路事業に関する基幹業務で、複数業務・工事と連携し、円滑な事業推進に繋がるよう各種設計及び関係機関協議を行った。

各種設計として、道路付属施設、強制排水施設、航空自衛隊の施設等を実施した。

標識や交通遮断施設などの道路付属施設は、設計基準だけでは細部仕様などが決定できないため、各種事例の収集、実運用上の課題を踏まえながら、設計を行った。

強制排水施設設計では、構造物設計、耐震設計、道路設計、機械設備設計、電気設備設計など総合的な技術力を発揮して行った。

現那覇空港インターチェンジのU型擁壁の改築は、地下水位が高く、改築に伴う湧水対策が必要であった。既往設計では止水性の高いSMW工法を選定していたが、施工時の交通規制が必要となる点が課題であった。そこで、仮設構台が不要となる鋼矢板工法への変更を行い、交通規制が路肩規制に軽減できた。

重金属対策では、最終処分場の受入土量を超過する重金属含有土が発生する見込みが高いことから、新技術の活用を含めた対策提案を行った。

関係機関協議として、都市計画変更手続きでは、都市計画変更図書作成に加え、案内文書作成、ポスティング対応、地元説明会への参加等、都市計画決定告示までを支援した。その他、事業認定資料作成や景観カルテの取り纏め等、事業上の協議課題に対応した。



業務概要

- 事務所名／南部国道事務所
- 業務場所／南部国道事務所管内
- 業務内容／道路付属施設詳細設計 一式
- 仮設構造物詳細設計 一式
- 既設跨道橋撤去設計 一式
- 重金属対策検討 一式
- 道路詳細設計 一式
- 平面交差点詳細設計 一式
- 一般構造物詳細設計 一式
- 航空自衛隊設備施設設計 一式
- 関係図書作成 一式
- 強制排水施設からの
- 流末排水設計 一式
- 交通量推計 一式
- 交通量調査 一式
- 工期／H29.4.15～H30.11.30
- 契約金額／¥92,577,600

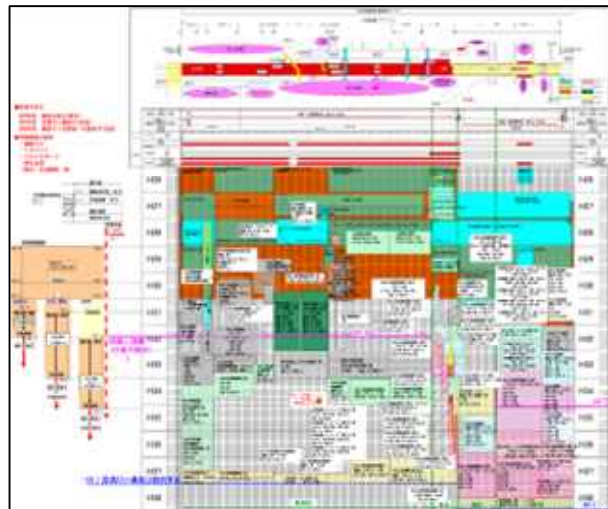
優良業務

件名 平成30年度南部国道改築事業促進等検討業務

会社名 株式会社 千代田コンサルタント 沖縄営業所



事業進捗会議運営状況



事業工程表

業務説明

本業務は、南部国道管内における改築8事業（嘉手納バイパス、北谷拡幅、小禄道路、那覇北道路、浦添拡幅、南風原バイパス、与那原バイパス、豊見城東道路）の事業展開を円滑・迅速に進めていくため、事業進捗に影響する既往資料・設計項目・内容の整合等を整理し、必要となる工程検討を行ったものである。

本業務において、事業進捗管理として月1回開催する「事業進捗会議」の運営、および会議資料の作成（事業工程表、案件リスト一覧表、関係機関協議一覧表、懸案一覧図）を実施し、事業促進に支障となっている懸案事項・協議事項について、事務所内関係課で情報共有し、クリティカルとなる案件について解決期限を設定することで、円滑な事業促進に大きく寄与した。

また、現場状況確認の目的で、最盛時期事業の「個別調整会議」の開催や、出張所における「履行報告会」への参加を行い、事業進捗として工事発注予定に対するタイムリミット等についても確認が必要となる案件に着目されており、事業進捗の促進が図られた。

個別案件としては、小禄道路の施工ステップCG作成、浦添北道路Ⅱ期線で先行着手可能な工事を抽出し事業全体の工程計画表を作成、南風原バイパスで施工中に発生した斜面崩壊に対し、法枠やアンカーによる法面対策の提案を行うとともに工事発注図書作成を行い、側道供用開通に資する対応を行った。

案件リスト一覧表

業務概要

- 事務所名／南部国道事務所
- 業務場所／南部国道事務所管内
- 業務内容／現地調査

現状の把握、課題・問題点の抽出と資料更新

一式

問題点に対する対応策の検討

一式

詳細工程表の更新

一式

工程管理資料の更新

一式

個別調整会議への参加

一式

事業進捗のための業務円滑化

改善の提案

一式

他個別案件検討

- 工期／H30.4.12～H31.3.22

- 契約金額／¥50,868,000

優良業務

件名 平成30年度北部国道管内道路附属物及び土工構造物点検等

(その2)業務

会社名 大日本コンサルタント(株) 沖縄事務所



緊急報告書

ファイバースコープによる内部確認

管理番号シール(標識柱)

非破壊試験状況

起終点プレート

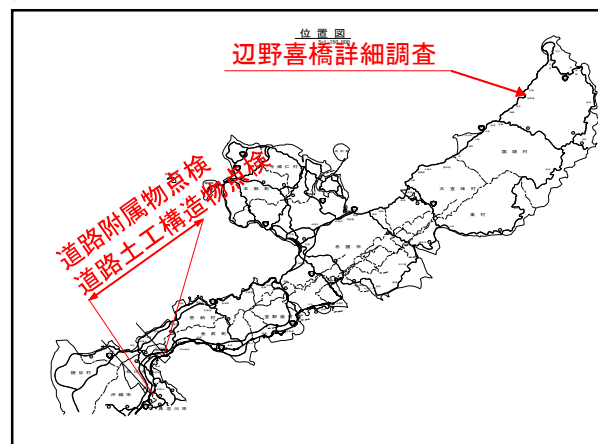
載荷試験状況

業務説明

本業務は、国道329号の道路附属物および土工構造物の現状を把握し、異常または損傷を早期に発見し、安全・円滑な交通を確保するとともに、沿道や第三者への被害防止を図るため、効率的な維持管理に必要な点検等を行うものである。点検対象は、道路照明設備・道路標識・情報提供装置・CCTV等、のり面工および擁壁であり、高所作業車等による近接目視で損傷状況把握・評価し、点検調査を作成した。また、詳細調査では、板厚測定・支柱基部掘削後の腐食調査を行うとともに、非破壊調査による鋼管柱路面境界腐食調査を実施した。さらに、今後の維持管理を考慮し、現地ボルトへの「合いマーク」付記、標識柱には「管理番号シール」を貼付、起終点が不明な土工構造物には「起終点プレート」を設置した。

供用安全性の確認が必要な橋梁に対し、20tダンプトラックによる載荷試験および応力頻度測定を実施した。また、たわみ計測では、加速度計を用いた新技術を活用し、緊急的に計測が必要な場合における基礎データを収集した。なお、ASR試験、含有塩分量調査等も行い、現時点での供用安全性を確認するとともに、今後の点検重点箇所についても示した。

位置図



業務概要

- 事務所名／北部国道事務所
- 業務場所／北部国道事務所管内
- 業務内容／道路附属物点検 一式
- 道路土工構造物点検 一式
- 辺野喜橋詳細調査 一式
- 工期／H30.4.11～H31.2.28
- 契約金額／¥34,776,000

優良業務

件名 那覇港(新港ふ頭地区)臨港道路(若狭港町線)詳細設計業務(その2)

会社名 大日本コンサルタント(株)沖縄事務所



業務説明

本業務は、那覇港から那覇空港・沖縄本島南部地域・中北部地域への交通量増加への対応や臨港道路港湾1号線などの交通混雑の緩和、ふ頭間の円滑な交通の確保を図ることを目的とした那覇港(新港ふ頭地区)臨港道路(若狭港町線)整備事業に伴う、若狭部(若狭 IC:A ランプ、D ランプ)の橋梁詳細設計、道路詳細設計、一般構造物設計および仮設構造物詳細設計を行うものです。

本業務の技術的特徴は、以下の通りです。

◆複雑な線形に対する構造諸元の最適化

大きな曲率を有し、縦断変化に富む道路線形のため、三次元モデルによる骨組み解析を実施し、二主桁桁や支点部の負反力対策(アウトリガーの設置)等、構造の最適化を図りました。また、左右主桁間の鉛直たわみ差および桁のねじりにより床版への付加応力が生じるため、FEM 解析により、RC 床版の安全性を検証しました。

◆維持管理に配慮した橋梁計画

海上橋であるため、全断面溶接構造を採用することで劣化の弱点部(添接部等)を排除しました。また、主桁間に検査路兼用の防護版を設置し、飛来塩分の侵入防止および外面塗装範囲の削減による LCC の縮減にも配慮しました。

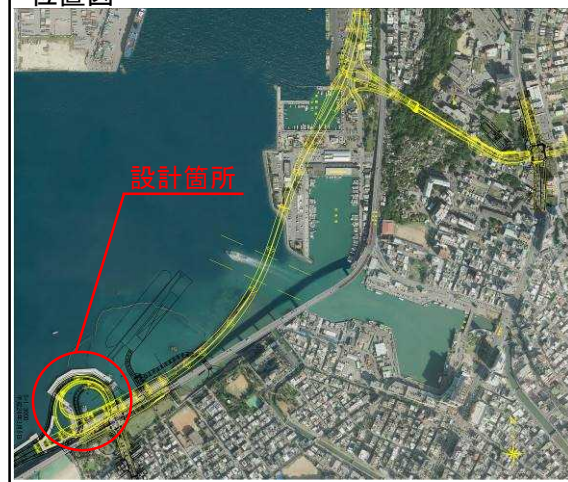
◆周辺影響に配慮した安全・確実な施工計画

橋脚設置による既設構造物への影響(施工時、完成時)をFEM解析により検証しました。また、海中盛土(袋詰め玉石)の適用を検討し、仮橋設置範囲の縮小によるコスト縮減を図りました。

◆業務遂行の工夫による品質確保

業務初期段階に施工計画を立案(全体模型を作成)し、協議毎に計画の熟度を高めていきました。また、CIM モデルを有効に活用し、施工ステップの妥当性を検証し、品質を確保しました。

位置図



業務概要

- 事務所名／那覇港湾・空港整備事務所
- 業務場所／沖縄県那覇市若狭
- 業務内容／橋梁詳細修正設計 一式
道路詳細修正設計 一式
一般構造物設計 一式
仮設構造物詳細設計一式
CIM活用 一式
- 工 期／H30. 6. 30 ～ H31. 3. 26
- 契約金額／¥157, 680, 000

優秀工事技術者一覧

優秀工事技術者の選考基準

1. 工事施工における困難性(工期、施工条件、難易性、地元情勢)を克服
2. 新しい施工技術の導入等の創意工夫
3. 土木工事現場の環境改善によるイメージアップ等への貢献度

工 事 件 名	業 者 名	技術者名	事務所等名	項
● 平成29年度与那原地区道路改良(その4)工事	先嶋建設(株)	西江 敬仁	南 部 国 道	P19
● 平成29年度南風原アーチ橋耐震補強(下りP15、P16)工事	(株)鏡原組	金城 保	南 部 国 道	P19
● 石垣港(新港地区)岸壁(一10m)築造工事(第3次)	丸尾建設(株)	大底 安則	石 垣 港 湾	P20

優秀工事技術者



監理技術者
西江 敬仁

- 工 事 名:平成29年度与那原地区道路改良(その4)工事
- 事務所名:南部国道事務所
- 工 期:平成30年3月29日～平成31年2月8日
- 会社名/代表者名:先嶋建設 株式会社/黒島一洋

この度、優秀工事技術者を受賞できたことは、建設工事に携わる技術者として誠に光栄であります。これもひとえに沖縄総合事務局 南部国道事務所 那覇空港自動車道出張所の監督職員をはじめ、関連隣接工事各業者、近隣住民の皆様からのご指導とご協力があったの事と深く感謝申し上げます。

本工事は、一般国道与那原バイパスの土砂掘削、運搬及び法面保護の工事でした。当該工事は、他工区と輻輳し、相互の工程や工事に支障を生じさせない施工方法が課題でした。特に課題だったのは、起伏のある現場を掘削運搬しながら、他工区の工事道路を確保する事でした。そのため、掘削方法を工事用道路確保優先に行いながら、法面工事の施工を踏まえた道路の切り回しを複数回行い他工区への工事に支障無く施工する事ができました。安全管理では、他工区と打合せを密に行い工事車両の台数を調整し現場出入り口及び一般道での渋滞に配慮しました。朝夕の通勤通学の時間帯には交通量が多い事から交通誘導員を増員して事故防止等に努めました。

現場の品質確保につきましては、創意工夫等を行い、全職員一丸となって取り組み無事故・無災害で品質、出来形とも良好に工期内完成をすることが出来ました。今回の受賞を励みに、これからも尚一層の努力を重ね、安心・安全で地域の環境に配慮した現場づくりに努めたいと思います。



監理技術者
金城 保

- 工 事 名:平成29年度南風原アーチ橋耐震補強(下り P15、P16)工事
- 事務所名 :南部国道事務所
- 工 期 :平成30年3月15日～平成31年2月15日
- 会社名/代表者名:株式会社 鏡原組/新里英正

この度、優秀工事技術者の表彰を受賞できたことは、建設工事に携わる技術者として誠に光栄であります。これもひとえに沖縄総合事務局南部国道事務所与那原維持出張所の監督職員をはじめ、工事に携わった多くの関係者の方々のご指導、ご協力があったの事と深く感謝申し上げます。

本工事は、那覇空港自動車道の南風原アーチ橋（下り P15、P16）において耐震補強をコンクリート巻立て、鋼板巻立て、炭素繊維シートで補強を行う工事であります。

施工箇所は地上高 30mを超える高所作業であるため、従来品より作業空間を拡大させた次世代型 Iq システム足場を採用し、作業環境の改善により、安全性と施工性を向上させる事ができました。

コンクリート巻立ては、供用中の橋脚部で交通振動の影響を受ける事からひび割れ発生の無い良質なコンクリート打設のための計画書を立案し、打設前日の施工会議で全作業員に施工方法・手順を周知し、品質を確保するための施工を管理しました。

今後さらなる新技術の活用、高品質な施工が提供できるよう努めて参ります。

優秀工事技術者



監理技術者
大底 安則

- 工 事 名: 石垣港(新港地区)岸壁(-10m)築造工事(第3次)
- 事務所名: 石垣港湾事務所
- 工 期: 平成30年10月16日～平成31年3月28日
- 会社名／代表者名: 丸尾建設(株)／丸尾 剛

この度、栄誉ある優秀工事技術者表彰を受賞させて頂きましたことは、建設工事に携わる技術者として誠に光栄であります。これもひとえに、沖縄総合事務局石垣港湾事務所の皆様を始め、工事に関わった全ての方々のご指導、ご協力の賜物と深く感謝申し上げます。

本工事は、石垣港新港地区岸壁(-10m)のクルーズ専用岸壁を整備する工事でありました。平成 30 年4月に暫定供用を開始したクルーズ専用岸壁内での作業は、旅客等に対する安全対策と、クルーズ船の入出港に伴う作業制限による工程管理が最も重要な課題でありました。特に工程管理においては、埋立工が工程を左右することから、埋立土砂の陸上運搬を岸壁使用中でも作業可能な岸壁背面側から海上運搬投入を行う施工方法へ工夫を行った結果、工程短縮を図るとともに、旅客等の安全も確保することが出来ました。又、関連工事との調整や協力業者と綿密な打合せを重ね作業効率化を図ることで週休2日の休日確保し、品質管理にも心を配り、安全についても無事故・無災害で工事を完了することが出来ました。

今回の受賞を励みに、より一層の努力を重ねて技術力・品質の向上、安全で快適な職場環境作り、社会貢献できるよう努めていきたいと思ひます。

優秀業務技術者一覧

優秀業務技術者の選考基準

1. 業務履行上の困難性(工期、施工条件、難易性、地元情勢)を克服
2. 新技術の導入等の創意工夫

業 務 件 名	業 者 名	技術者名	事務所等名	項
● 平成30年度南部国道事務所用地補償総合技術(その3)業務	(一財)公共用地補償機構 沖縄事務所	平良 盛隆	南 部 国 道	P22
● 那覇港(新港ふ頭地区)岸壁基本設計業務	パシフィックコンサルタンツ(株) 沖縄支社	鈴木 信夫	那覇港湾・空港	P22

優秀業務技術者



主任担当者
平良 盛隆

- 業務名：平成30年度南部国道事務所用地補償総合技術
(その3)業務
- 事務所名：南部国道事務所
- 工期：平成30年4月2日～平成31年3月29日
- 会社名／代表者名：一般財団法人 公共用地補償機構
沖縄事務所／所長 稲里 昇

この度、栄誉ある優秀業務技術者の表彰を受けましたことは、補償コンサルタント業務に携わる者として誠に光栄なことであります。業務遂行にあたりご指導、ご支援頂きました南部国道事務所用地第二課の職員の皆様をはじめ、関係各課の方々に深く感謝申し上げます。

本業務は、国道506号(小禄道路)に必要となる土地(那覇市境水地内～同市具志地内)の所有者に対して関係権利者の特定、補償額算定書の照合、公共用地交渉方針の作成及び公共用地交渉等を行い、関係権利者から同意を頂き、当該事業の用地取得の早期進捗を図ったものであります。

今回の業務箇所については、今後の当該事業の工事工程に影響を及ぼす恐れがあるトンネル区間(区分地上権設定箇所)があり、又、関係権利者も多く存していたことから早期の権原取得の必要があり用地第二課との調整のうえ、一括調印方式を採用して対応したものの難航案件も存していたため、用地第二課のご指示も受けながら解決に努めた結果、全ての権原取得を完了させ、事業促進に貢献できたものと考えております。

今回の受賞を励みに、より一層の技術力向上と創意工夫に努め、地域への社会貢献に努めて参りたいと考えております。今後とも、ご指導、ご鞭撻の程、よろしくお願い申し上げます。



管理技術者
鈴木 信夫

- 業務名：那覇港(新港ふ頭地区)岸壁基本設計業務
- 事務所名：那覇港湾・空港整備事務所
- 工期：平成30年8月9日～平成31年3月29日
- 会社名／代表者名：パシフィックコンサルタンツ(株)沖縄支社
／塘 一成

この度は、栄誉ある優良業務技術者の表彰を受けましたことは、誠に光栄な事であります。これも那覇港湾・空港整備事務所の職員の方々ならびに関係者の皆様方のご支援、ご指導があつての事と深く感謝申し上げます。

本業務は、「官民連携による国際クルーズ拠点」として、22万GT級の大型旅客船が着岸可能な機能を有した那覇港(新港ふ頭地区)の12号、13号岸壁(-12m)について、岸壁部、ドルフィン部、取付護岸部の基本設計及び施工検討を行うとともに、埋立承認願書申請書の作成、景観検討を行いました。基本設計は、構造形式の比較検討を行い、経済性、施工性の観点から、岸壁はケーソン式、南ドルフィン斜杭式、北ドルフィンケーソン式、取付護岸はコンクリートブロック積式を採用しました。施工検討は安全且つ確実にできる施工方法、施工工程、概算工費の算定を行いました。景観検討は、『あらたな玄関口として期待感と潤いのある沖縄らしい「めんそーれ」空間』を景観整備方針として検討を行い、景観カルテとしてとりまとめました。

今回の受賞を励みに、なお一層の技術力向上と創意工夫に努め、社会資本整備に尽力したいと考えております。今後ともご指導、ご鞭撻のほど、よろしくお願い申し上げます。